

# 突発性難聴について

やまおか耳鼻咽喉科

## 1. 突発性難聴とは

- 1) 突然、片耳の聞こえが悪くなる病気で、原因はわかりません。
- 2) 内耳と言う聞こえのセンサーと、平衡感覚のセンサーの部分の病気です。
- 3) 聞こえの悪くなり方は人様々で、めまいを伴う方もいます。

## 2. 突発性難聴は治りますか？

- 1) 発症から治療まで1週間、最悪でも2週間以内に治療しないと治りが悪いです。
- 2) 早く治療した方、年齢の若い方、難聴の程度が軽い方、めまいがない方は治りが良いと言われていきます。
- 3) ステロイドを使って治療した場合、完全に治る方が3分の1、全く改善しない方が3分の1、途中まではよくなる方が3分の1位の確率です。
- 4) 難聴の程度のひどい方、初期の治療反応が悪い方は入院治療を考えます。
- 5) 軽度の難聴の場合、自然に良くなることもあります。難聴が固定してしまうと、一生そのままになってしまいます。

## 3. 他に考えられる病気

- 1) メニエール病、繰り返す低音障害型感音性難聴の初回発作とは区別が付きません。低音部分の低下のみの場合は、浸透圧利尿剤(メニエール病の治療薬)を試用して、改善がなければ、ステロイド剤へ移行する場合があります。
- 2) 外リンパ瘻、聴神経腫瘍、脳梗塞、脳出血、全身の病気に伴う聴力障害など様々な可能性が考えられます。MRIなど脳の検査も考慮します。

## 4. 突発性難聴の治療

- 1) 1番大切なのは、安静を取ることです。過労やストレスは絶対にダメです。場合によっては、しばらくの間、仕事を休んでいただくことが必要になります。
- 2) 基本的にはステロイド剤を使います。内服ステロイド治療の場合、1コース9日間かかります。途中で薬を止めることができず、指示された通りにきちんと内服する必要があります。
- 3) 糖尿病、高血圧、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、緑内障がある場合は、ステロイド治療ができないか、厳重な管理下で行う必要があります。
- 4) ステロイドは、副作用で免疫を低下させるため、感染症にかかりやすくなります。感染症予防のため、自宅安静が必要になります。
- 5) 神経保護剤の内服をします。

<詳しくは、当院のホームページをご覧ください>

突発性難聴について

<http://www7b.biglobe.ne.jp/yamaoka-ent/SD.pdf>

